

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)乙第1744号	氏名	園田浩一朗
論文審査担当者		主査教授	上平 憲
		副査教授	江石 清行
		副査教授	有吉 紅也
論文審査の結果の要旨			
1.研究目的の評価			
炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)における静脈血栓・塞栓症の合併の頻度と合併の有無による二群間の凝血学的病態の差を明らかにしようとするもので、その目的は十分に妥当である。			
2.研究手法に関する評価			
炎症性腸疾患47例を静脈血栓塞栓症の有無によって二群に分類し、CRP, TAT, D-Dimerなどの炎症性ないし凝固・線溶系の的確なパラメータを用いて比較し、研究手法も妥当である。			
3.解析・考察の評価			
血栓は8症例(肺;4例、下肢静脈;4例)17.0%の高頻度に合併し、有血栓群において高年齢化、潰瘍性病変の内視鏡的重症化、TAT/D-dimerの高値による過凝固状態の存在などが明らかにされ、その結果の解析や考察は適切に行われ、今後の炎症性腸疾患の病態の理解や治療法の改善への新たな発展が大いに期待される。			
以上のように、本論文は日本人における炎症性腸疾患における血栓性疾患の合併の病態を明らかにし、現在増加しつつある炎症性腸疾患の臨床医学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			